

京都府立医科大学附属病院で小腸内視鏡検査を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

当院の小腸内視鏡使用症例の現状に関する 後ろ向き調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、当院で行った小腸内視鏡使用症例の現状に関する後ろ向き研究を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で小腸内視鏡検査(カプセル内視鏡・バルーン内視鏡)を受けられた患者様の診療録を後方視的にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

小腸疾患はその頻度が少なく、病気の性質（病態、治療効果、予後など）についてはいまだ十分な検討はなされていません。本研究はこれまで当院で行った小腸内視鏡検査症例を解析し、小腸疾患について情報収集することにより、より安全で効率的な検査を目指し、各種小腸疾患の病態、治療効果などを多方面から検討することを目的としています。

研究の方法

- ・対象となる患者様について

2008年1月1日～2021年12月31日までの間に、京都府立医科大学附属病院で小腸内視鏡検査(カプセル内視鏡・バルーン内視鏡)を受けられた患者様が対象となります。

- ・研究期間 承認日～2022年3月31日
- ・方法について

本研究は、小腸内視鏡検査歴を過去の診療記録から抽出し、その治療歴や経過などを後方視的に検討する観察研究です。

下記のような項目を検討します。

- (1) 臨床情報：年齢、性別、検査日、既往歴、家族歴、内服薬、臨床診断、内視鏡所見、病理学的所見、血液検査所見、画像検査所見（胸部単純X線、胸腹部CT、小腸造影、PET/CT etc）
- (2) 診断名
- (3) 治療法：内視鏡治療、内服治療、手術、化学療法、経過観察etc
- (4) 偶発症：
 - ・偶発症発生の時期

・偶発症への対応

(5) 小腸内視鏡検査後の経過

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成34年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先

京都府立医科大学消化器内科

職・氏名 准教授・小西英幸 電話：075-251-5519